

**元気なうちに
備える
福岡**

**7つの
風の谷を
つくる**

福岡は、
もう**経済成長**しない。
それでも、へこたれない。

経済規模は、大きくなった。
しかし、
一人一人の経済は、
すでに成長していない。

まちの**経済規模**は、 大きくなった。

+17%

市内総生産

7.0兆→8.2兆円

(2011→2022年度)

+24%

人口

134万→166万人

(2000→2025年)

+47%

市税

2,841億→4,173億円

(2015→2025年度)

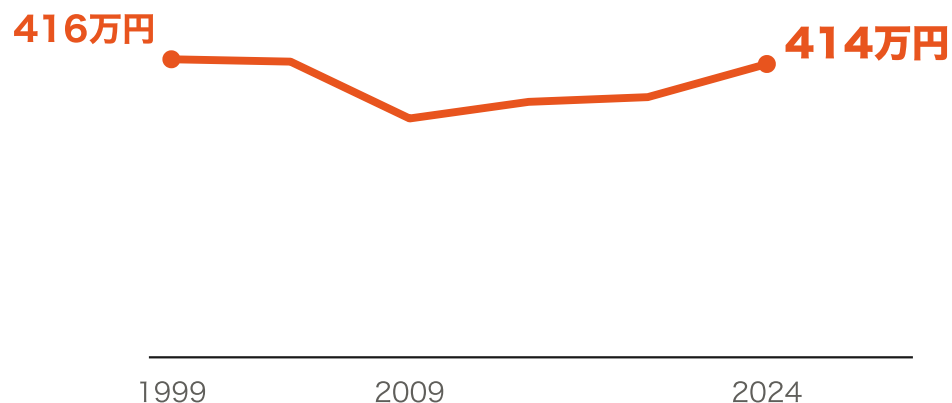
でも、一人ひとは 豊かになっていない。

福岡市で住民税を納める人1人あたりの所得。

今の物価で、同じ物がどれだけ買えるかで比べた値（福岡市の物価指数）

住民税のかからない人は入っていない。社会保険料も引く前の金額。

それでも、横ばい。



儲かった人もいる。
地価は、10年で**2倍**。

2倍

住宅地の地価
(2015→2025年)

+64%

新築マンション
3,242万→5,305万円

85棟

天神ビッグバン
(目標は30棟)

世帯年収（中央値）は、
20年前より**1割低い**。

440万円 → **396**万円

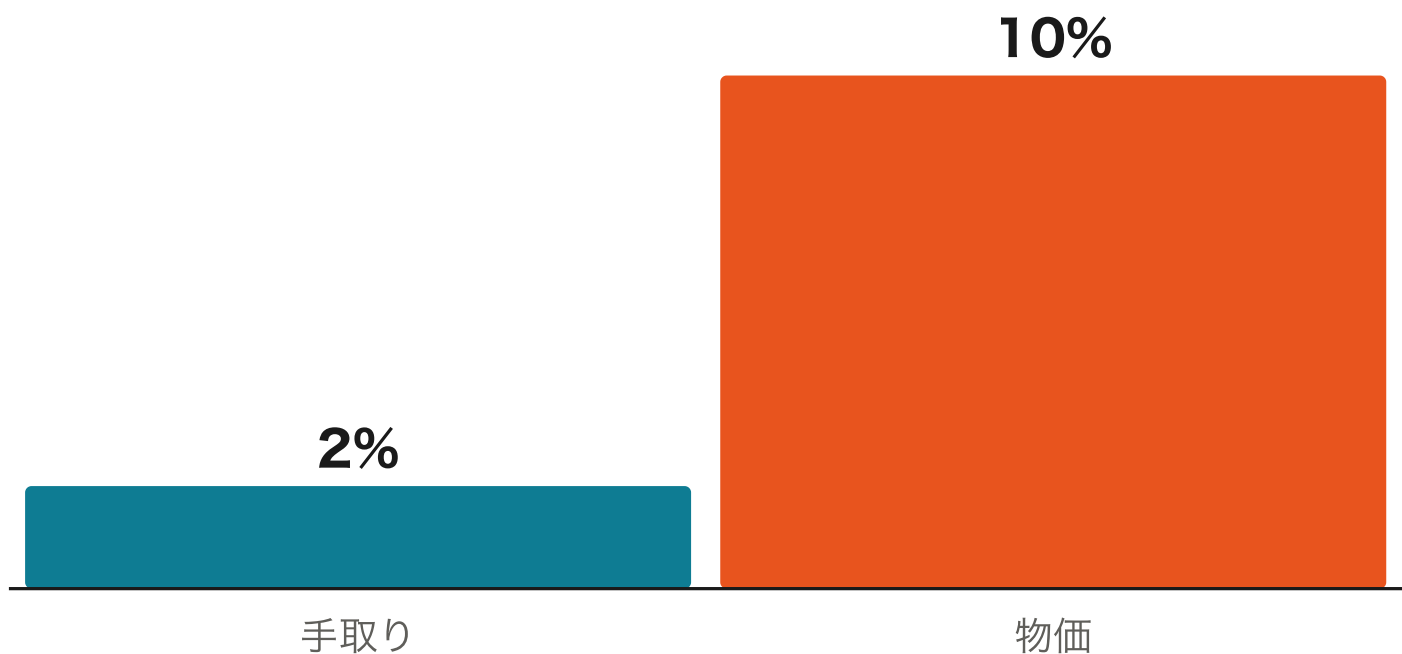
2002年 → 2022年。今の物価で、同じ物がどれだけ買えるかで比べた値
（福岡市の物価指数）。住民税のかからない世帯も含む

一人暮らしの**3人に2人**は、
年収300万円未満。

67%

福岡市の世帯の**54.5%**が一人暮らし（2025年）

この3年、物価は**10%**上がった。
手取りは**2%**。



福岡市の会社員世帯、2022→2025年

毎日のものほど、**上がっている。**

+35%

食料
(10年)

+30%

ガソリン 1L
136円→177円
(10年)

+40%

電気代
(15年)

15→18%

給料から
引かれる税と
社会保険料

新しく部屋を借りる人ほど、 家賃が高い。

+20%

新築の賃貸の家賃
(5年、1畳あたり)

+9%

新しく入居した人の家賃
(平均より)

-2%

物価の統計では
家賃は下がったことに

絶好調だった16年。 一人ひとりとは豊かになれなかった。

+32万人

人口
(25年)

+47%

市税
(10年)

2倍

住宅地の地価
(10年)

－1割

世帯年収の中央
値
(今の物価で
比べる、20年)

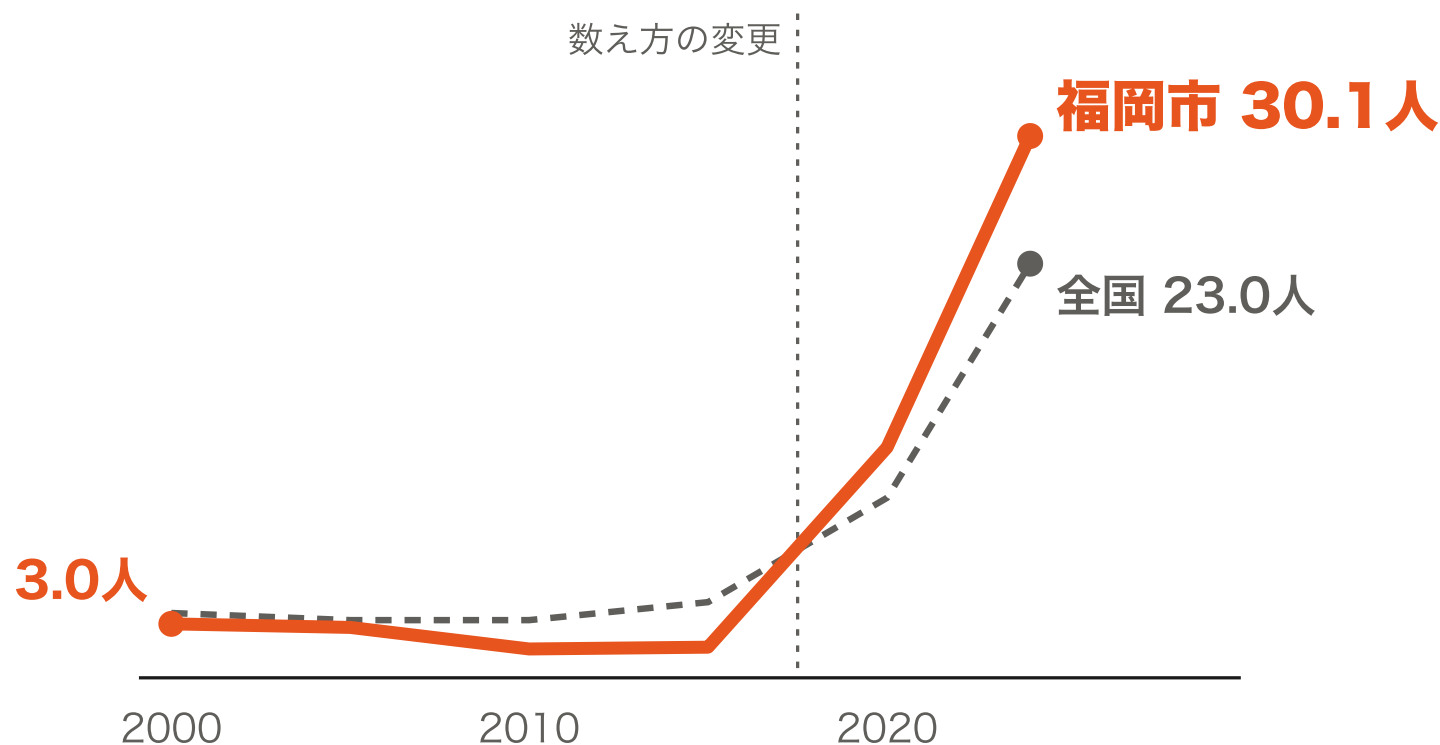
これからは、人が減り、働き手が足りなくなる。

お金だけで解決するのは、難しい。だから、目指す豊かさを変える。

**大人は娯楽を買えても、
子どもは、お金で
自分を癒やせない。**

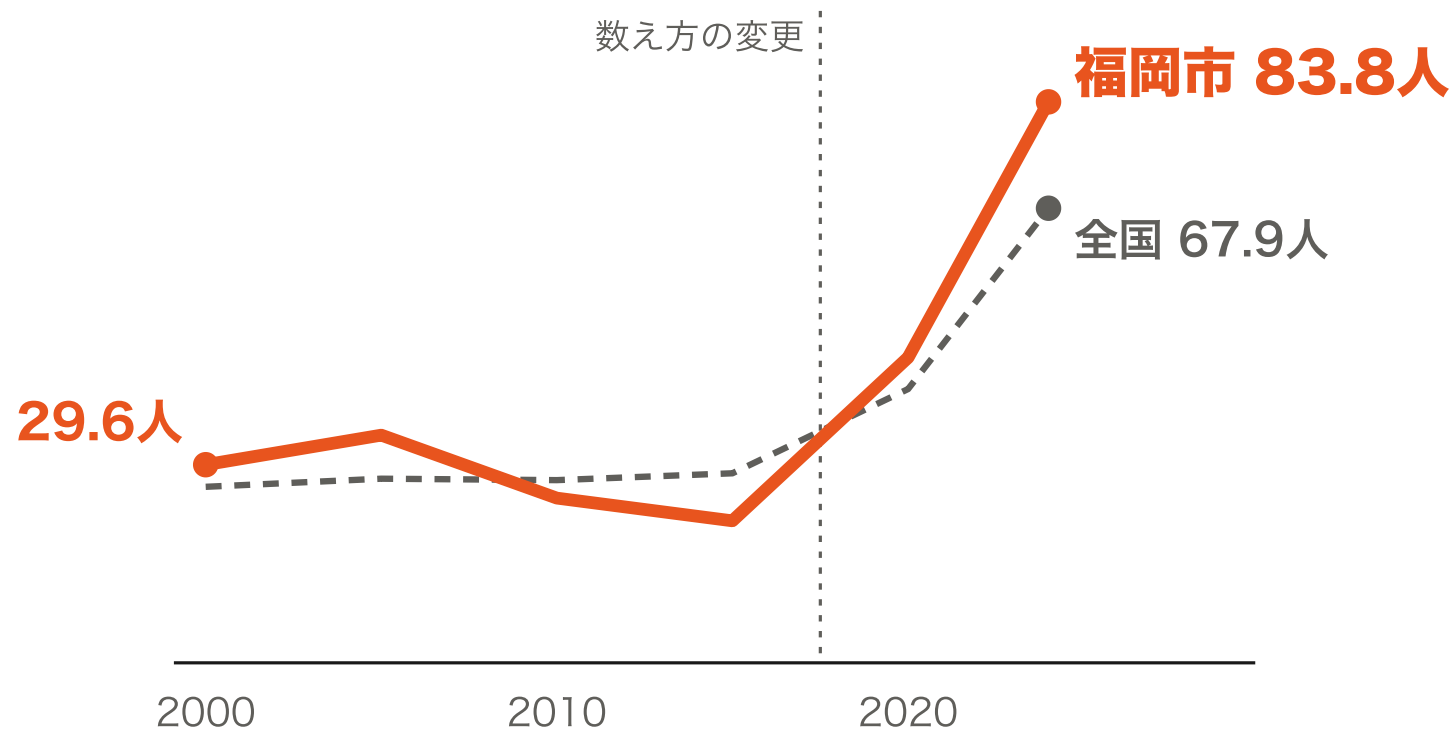
だから子どもの数字は、まちの健康をそのまま映す、
大事な社会指標の一つです。

小学生の不登校、政令市1位。



1,000人あたり。2024年度、2,492人。数え方が変わった2018年度を起点にしても、小中の不登校は1,814人→5,770人（3.2倍）

中学生は、12人に1人が不登校。



1,000人あたり。2024年度、3,278人

子どもや家庭の問題と割り切ってはいけない。社会が、義務教育を果たせていない。

心が、弱っている。

2倍

20歳未満の自殺
(5年で36人→73人)

8.5→2.2倍

小学校の先生の
採用試験の倍率
(2000→2024年実
施)
25年で4分の1

2倍

不登校
(4年で5,770人)

つらいときは よりそいホットライン 0120-279-338

小さな怪我や失敗で、子どもは学ぶ。 それをさせない社会になった。

211基

3年で撤去した
公園の遊具
戻したのは73基
(2002～04年度)

2.3倍

大人向けの健康遊具
(2009→2021年)
遊具の総数は横ばい

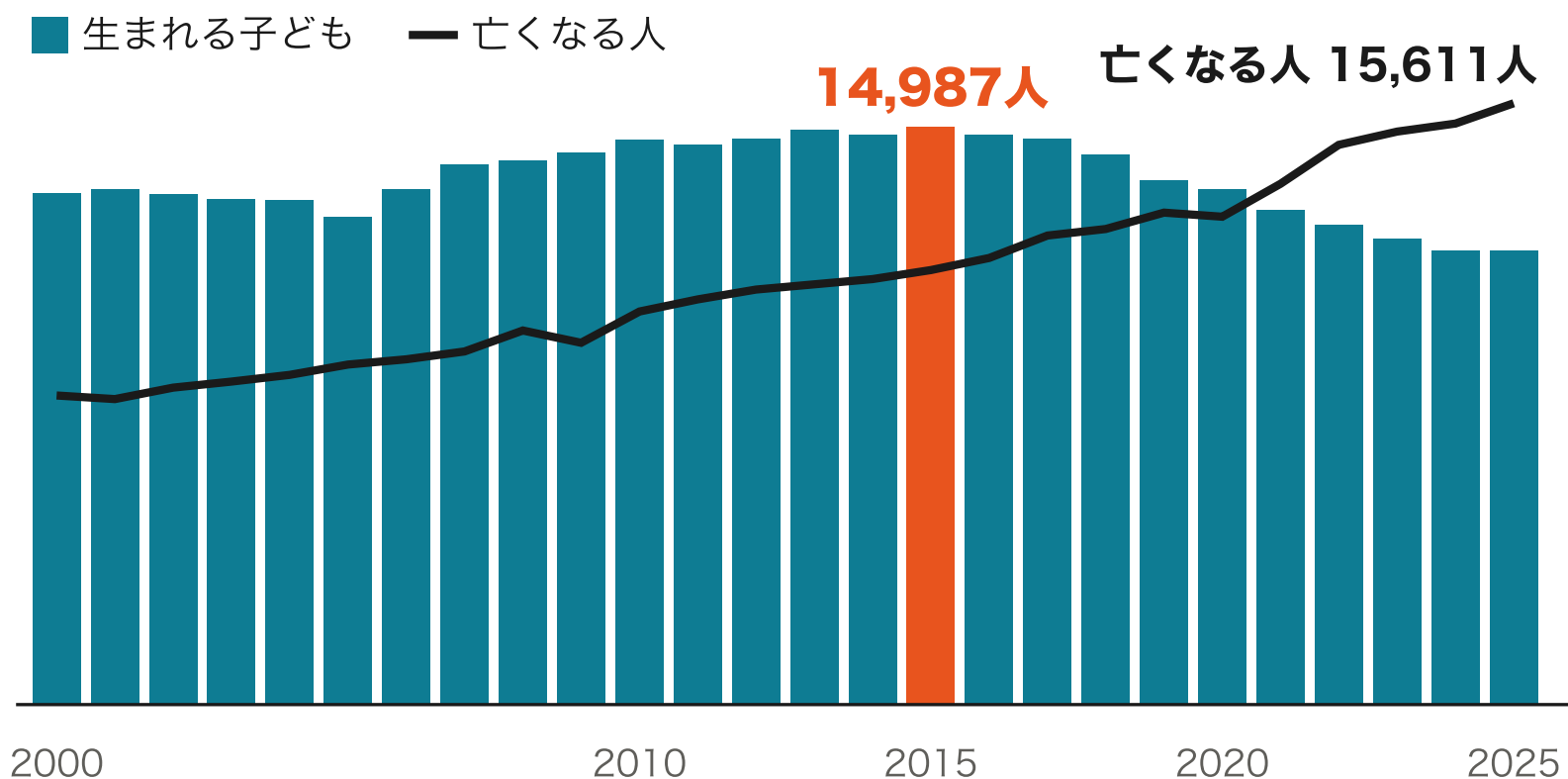
数えていない

ボール遊びを禁止した
公園の数（市）

国の指針：「子どもは小さなリスクへの対応を学ぶことで
経験的に危険を予測し、事故を回避できるようになる」

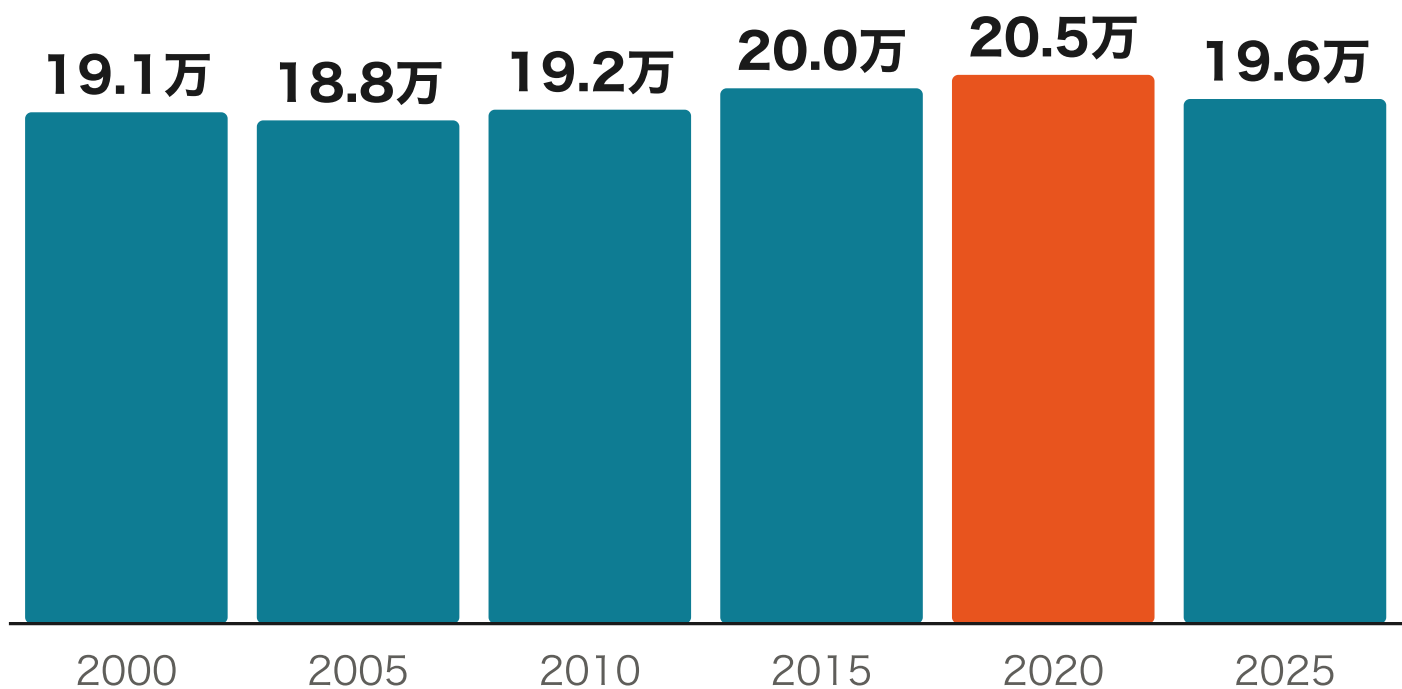
そして、
これから数十年、
厳しさが増す時代です。

生まれる子どもは、 2015年がピーク。



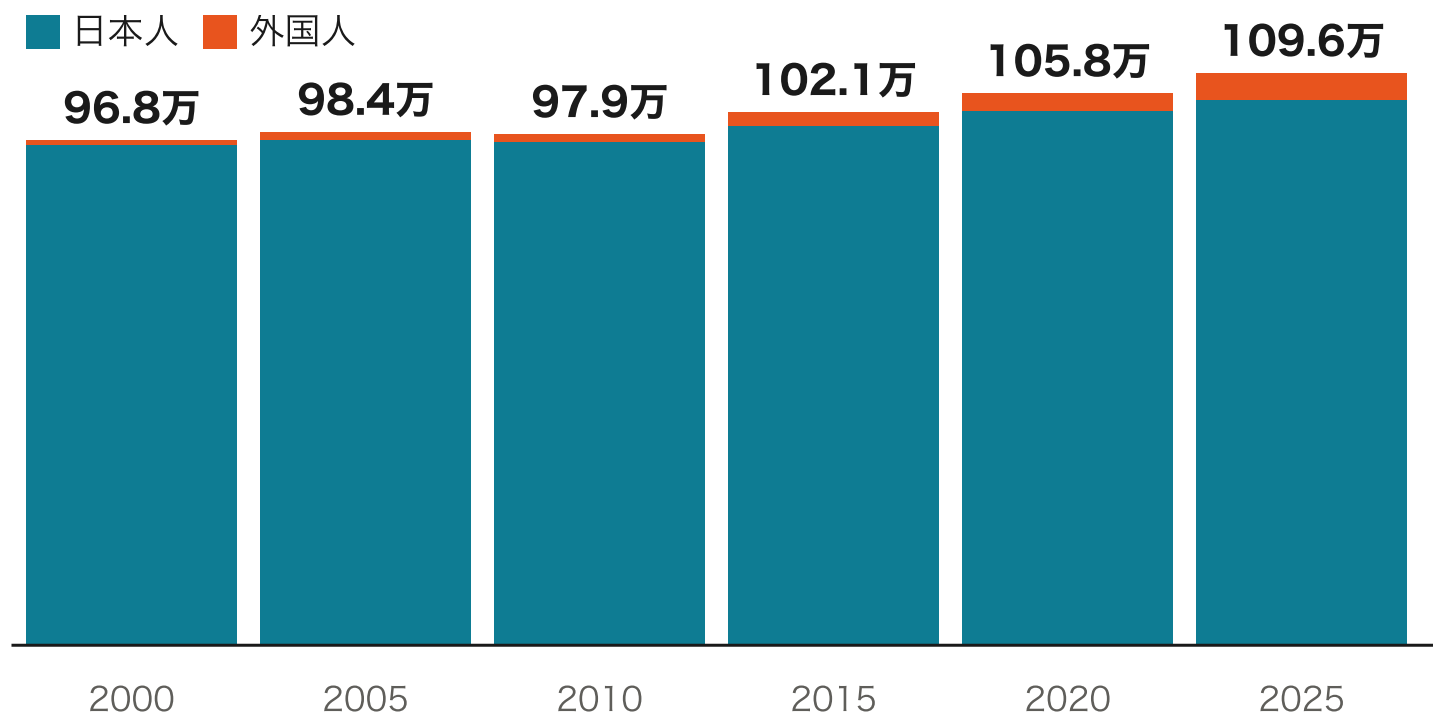
福岡市。2025年は11,780人。2021年から、亡くなる人のほうが多い

子どもが、減り始めた。



福岡市の子ども（0～14歳）、国勢調査

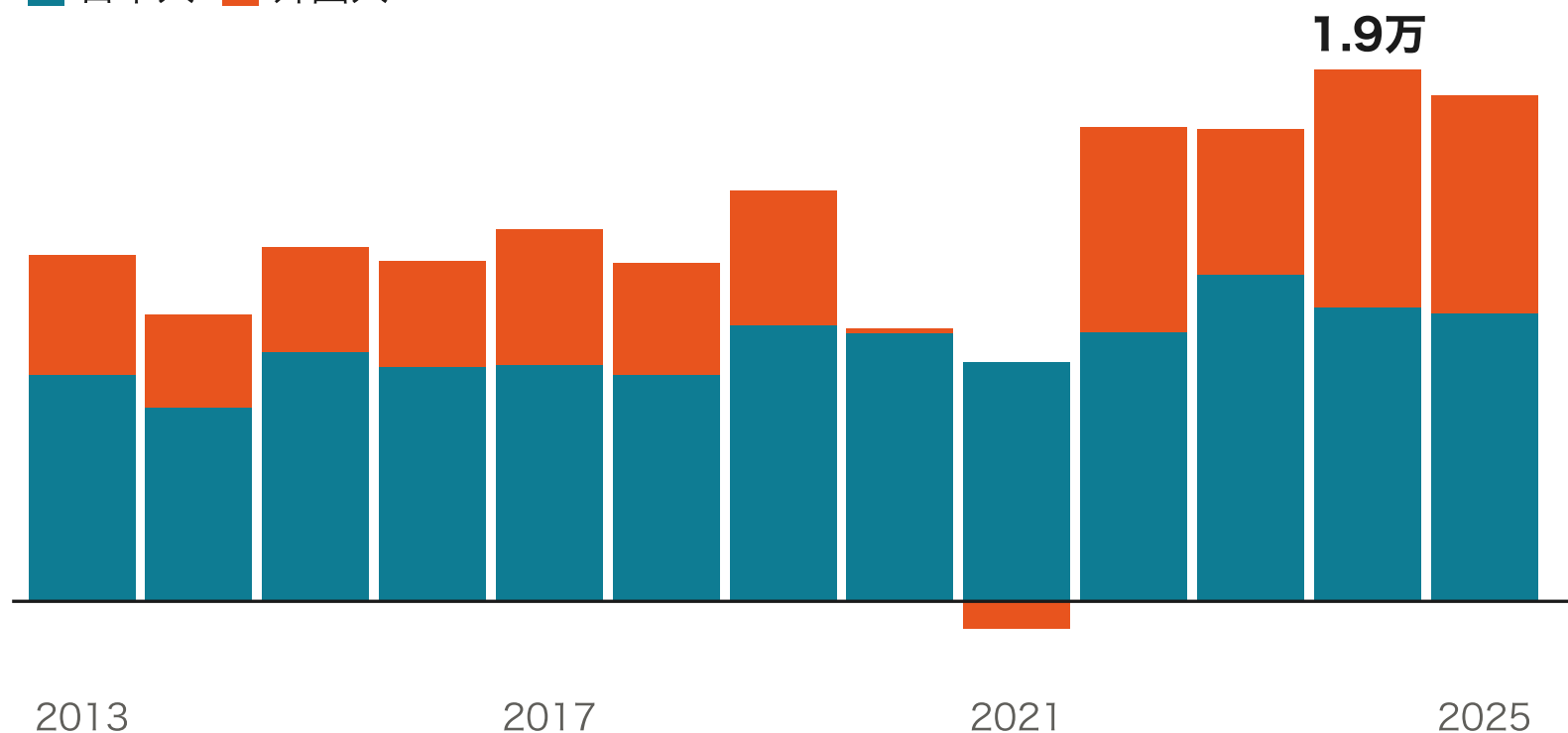
働く世代は、 人口ほど増えていない。



福岡市の15～64歳、国勢調査。日本人は25年で+9%、人口全体は+24%。
2015年以降は年齢不詳を補った値

転入超過の4割は、外国人。

■ 日本人 ■ 外国人



福岡市に転入した人－転出した人。2024年は1.86万人のうち外国人8,321人、2025年は1.78万人のうち7,642人

外国人を受け入れる**仕組み**が、まだない。

	ドイツ	フランス	韓国	日本・福岡市
国が用意 する言葉 の講座	600時間	最大600時間 (無料)	最大415時間	国の制度なし 市はボランティア教室に 1教室 年8万円まで補助
暮らしと ルールの 講座	100時間	24時間 (義務)	70～100時間	なし (特定技能のみ8時間～)
受講は 義務か	一部義務 (言葉が足りない 人など)	義務 (初めての滞在許 可)	任意 (永住・帰化の要 件)	義務なし (特定技能の8時間だけ)
外国籍の 子どもの 就学	義務	義務	任意 (入学は認める)	義務なし (希望すれば無償で入学)

福岡市の外国人住民は10年で約2倍（2.9万→6.1万人）。日本語を教える人の半分以上はボランティア。国の制度は2028年度に試行予定。

子育て世帯は減っているが、
親がいない人はいない。

つまり介護の課題は、**ほぼ総人口と同じ規模**でやってくる。

親の介護でサービスを使えなければ、必ず、仕事や挑戦の重荷になる。

介護の業界では、働き手1人を、
3つの職場が取り合っている。

3.09 倍

介護の仕事の有効求人倍率（福岡県、2025年）

介護の現場には、毎年 4,700人の新しい働き手が必要。

2.6万→4.0万人

必要な介護職員
(2026→2040年度)

1,000人

毎年の増加
(ほかに辞める人が
3,700人)

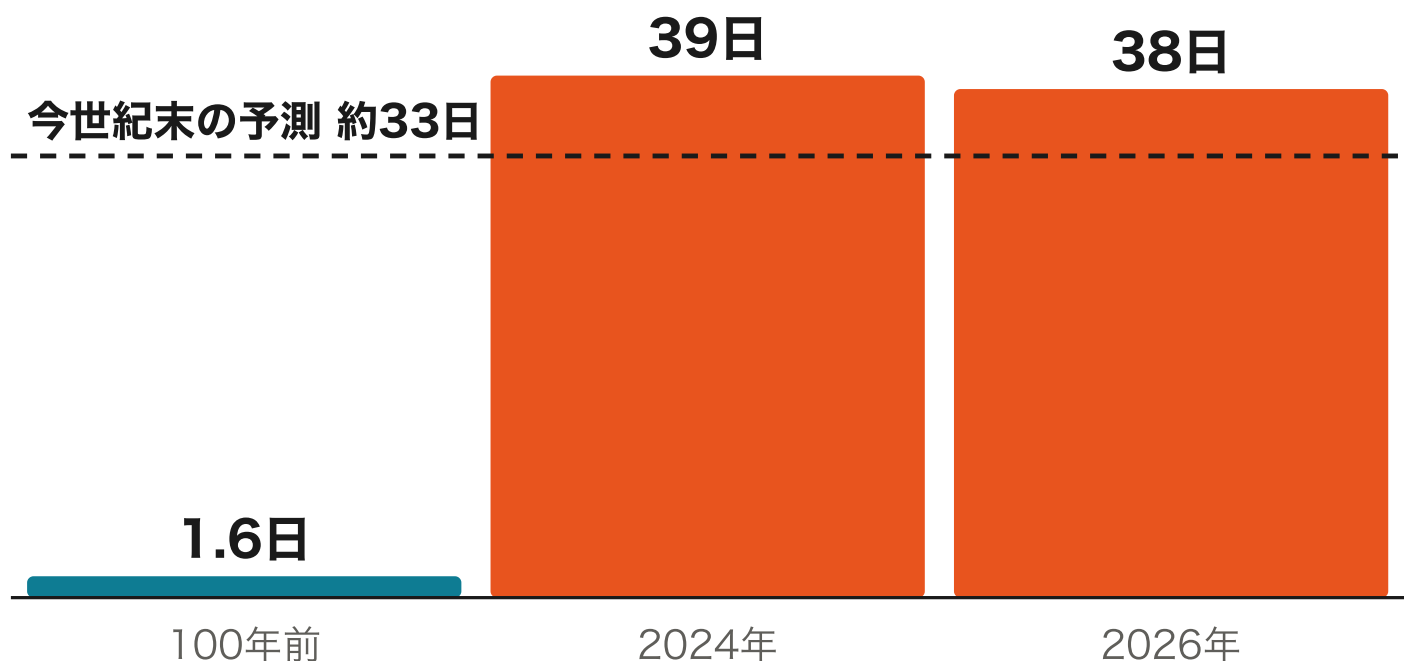
数えていない

介護の働き手の
今の人数 (市)

4,700人 = 増やす分 約1,000人 + 辞める人の穴埋め 約3,700人

増やす分：(39,700人 - 25,500人) ÷ 14年 / 穴埋め：25,500人 × 離職率14.5%

夏が暑い。 今世紀末の予測を超えた。



福岡の猛暑日（35℃以上）。今年8月、福岡県で初めて40℃

まちも、一斉に古くなる。

26%→72%

築50年を過ぎた橋
(10年後)

12%→69%

50年を過ぎた下水道管
(20年後)

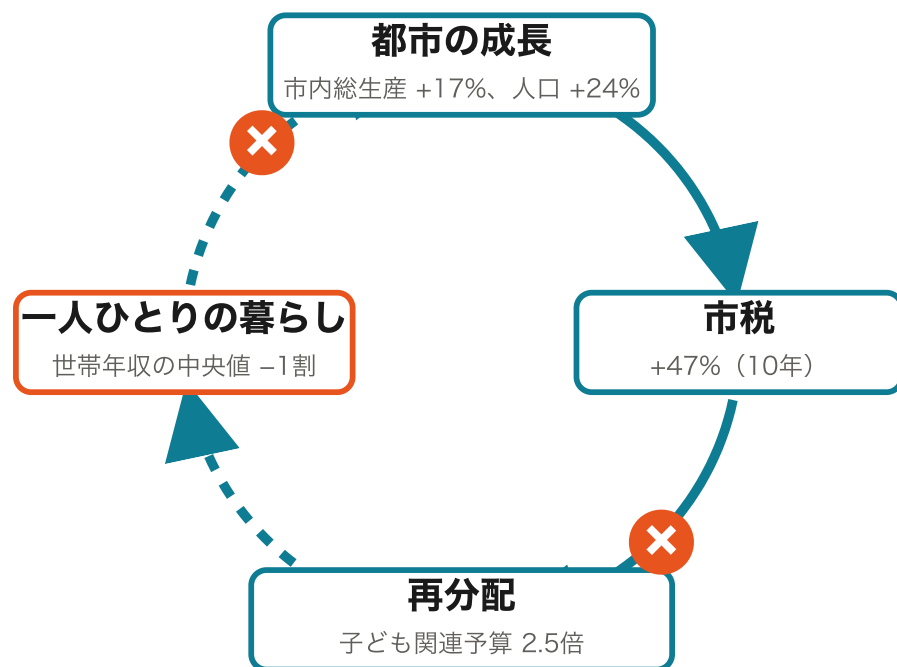
約8割

築30年を過ぎた
学校の校舎

**継承すべきは、
経済規模の拡大ではない。
へこたれないこと。
そして、備える。**

見返りがなくても、地域のために毎年踏ん張る。へこたれない力。

都市成長と再分配のサイクルでは、 社会は**回らない**。



× 成長の果実が、一人ひとりに回らない

納税者1人あたりの所得：25年横ばい
果実は地価（10年で2倍）と家賃へ
残りを物価（+10%）と保険料が食う

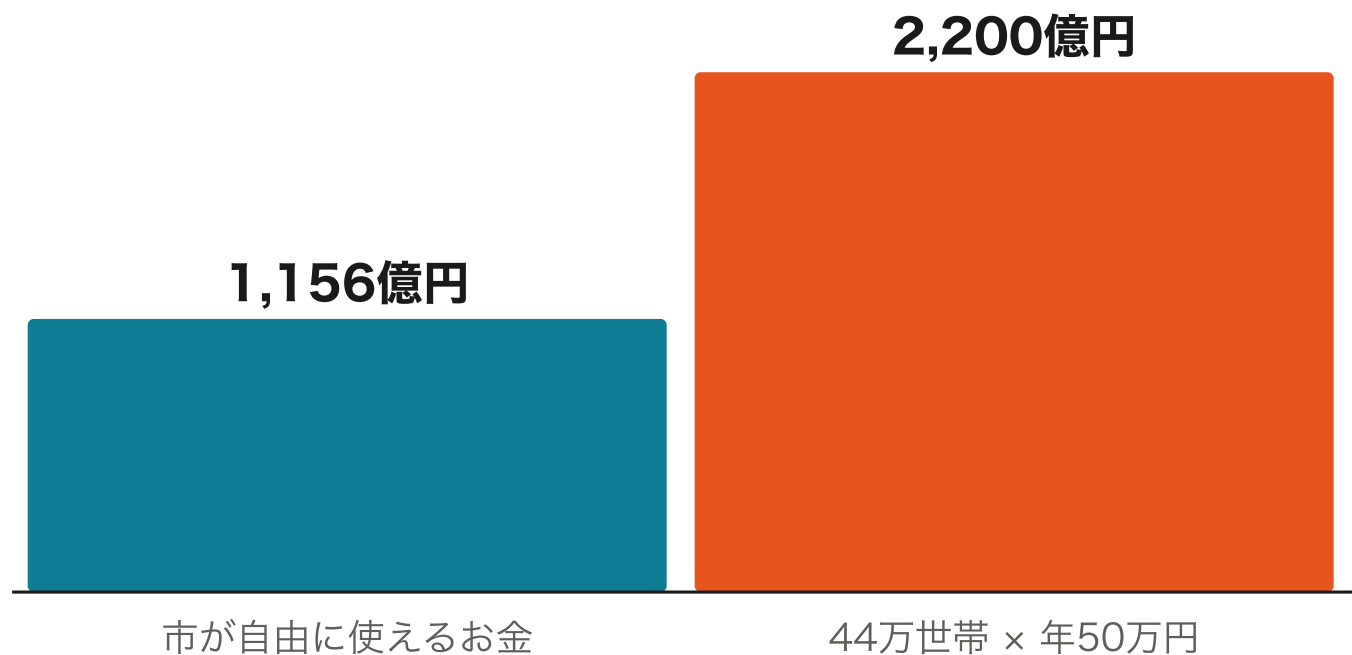
× 再分配が、届かない・効かない

世帯の54.5%は一人暮らし。子育ての給付は届かない
中央値以下の44万世帯に年50万円＝2,200億円
＝市が自由に使えるお金（1,156億円）の2倍
予算を2.5倍にしても、不登校は3.2倍

お金で買えないものは、この輪の外にある。

顔見知り、居場所、小さな失敗ができる校庭、へこたれない力。

中央値以下の44万世帯に年50万円。
市が自由に使えるお金の**2倍**。



年50万円は、下がった世帯年収（中央値 440万→396万円、-44万円）を戻すだけの額。それでも、桁が合わない。

課題は、つながっている。
だから、まとめて解く。

お金

所得が増えない
物価・家賃

心

不登校・孤立
先生の心の病

人手

介護・子ども
働き手不足

暑さ

猛暑・災害
古くなる橋や校
舎

市政をお預かりすることになった場合、
最初の100日で、**この3つ**から始めます。

1

福岡に、
7つの風の谷を。

2

ポケットに、
市役所を。

3

つくる前に、
数える。

政策1

福岡に、7つの風の谷を。

今ある小学校を、災害時も止まらない拠点に。ふだんは、みんなの交流拠点に。



FUKUOKA 風の谷プロジェクト

とは？ = 小学校をアップデート。

避暑・防災

停電しても眠れる避難所

公民館の統合

いこいの家も、小学校に

生き物・果樹

木陰と果樹、鶏と水辺

発電・蓄電

屋根の太陽光と蓄電池

市民食堂

週1回、同じ机でごはん

異世代サークル

空き教室を、地域の拠点に

スタートアップ

空き教室、賃料無料

キャンプ利用

校庭で、子どもも大人も

校区単位の進化

7つの校区、7つの個性

歩行者スケールでまちをつくる。それが、子ども目線のまちづくり。

同じ福岡市でも、 校区はまったく違う。

1,078人

いちばん大きい小学校
(平尾小)

3人

いちばん小さい小学校
(玄界小)

約半分

市の面積のうち
田畑と山の区域

だから風の谷は、同じものを7つ配らない。校区ごとに、個性豊かにつくる。

災害時は、止まらない生活拠点。

眠れる

真夏の熱帯夜に
避難しても、
停電を心配せずに
エアコンの中で眠れる

3日

水とエネルギーが
止まらない。
屋根の太陽光と
300kWh級の蓄電池

家族で

若い世代と高齢者が
一緒に避難できる

平時は、多様な人と生き物の 交流拠点。

空き教室

地域のサークル
活動や、賃料無料の
スタートアップ
オフィスに

校庭

適度な日陰が増え、
防災倉庫も活用
しながら、子どもも
大人もキャンプできる

週1回

同じ机で、
みんなでごはん

今ある小学校を**使い倒し**、 人への投資配分を増やす。

0棟

新しいハコモノは
建てない

4年で7校

1期目で、
7区に1校ずつ

やらない

経済成長のための
再開発。16年やっても
実質の賃金は増えず、
この3年は
手取り+2%、物価
+10%

民間の投資は歓迎する。でも、市が先に立つ再開発は、もうやらない。

政策1 福岡に、7つの風の谷を。

最初の100日で、1号地を決める。

100日

1号地を決め、
住民との対話を始める

2027年度

1号地を開所

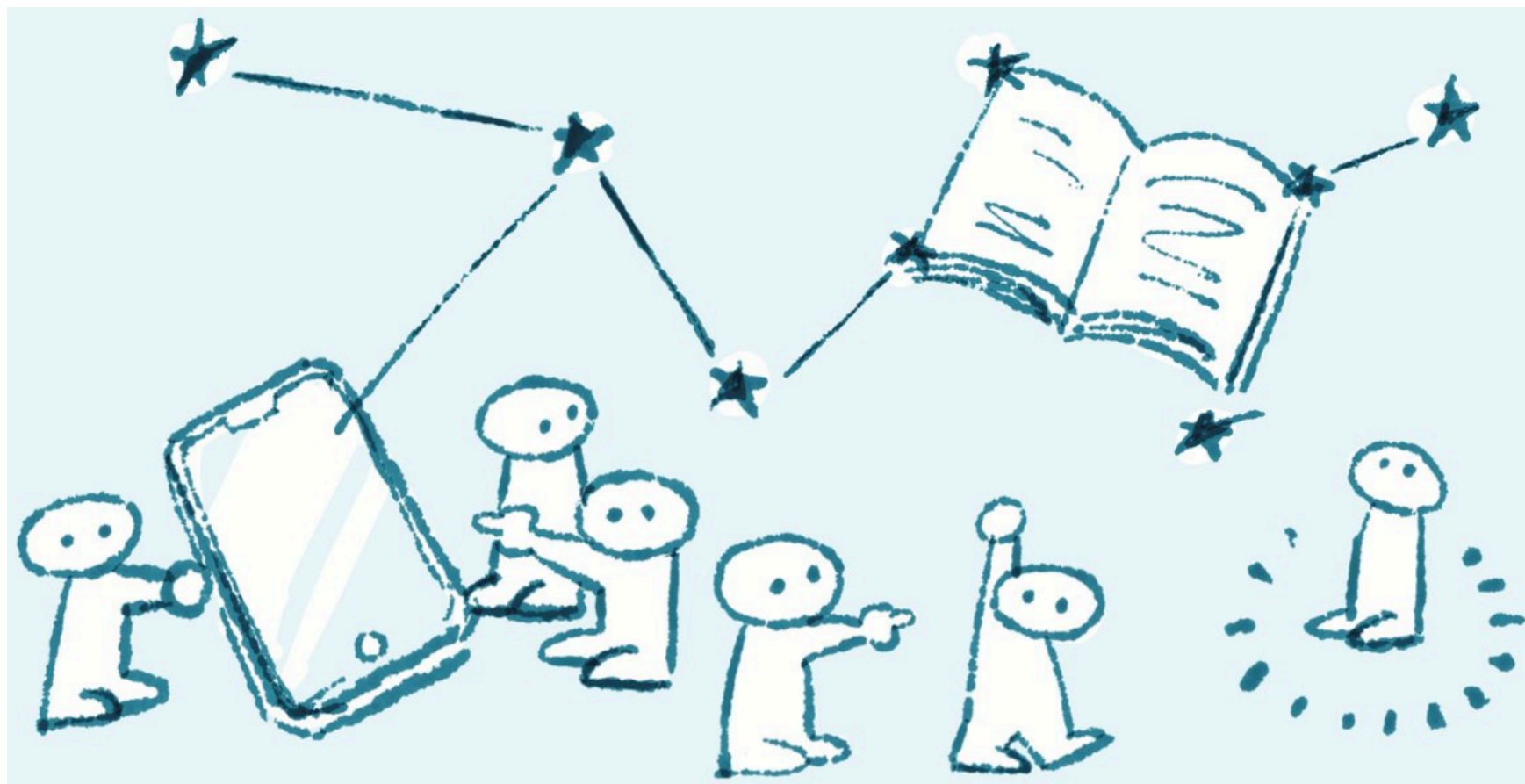
2028年度末

7区に7校

この収支計画を、政策3の「数える」に最初に通して公開する。

ポケットに、**市役所**を。

10のアプリを一つに。定型事務を1/10にして、浮いた人手と時間を、教育と介護へ。



ポケットに市役所 = スマホで終わる。 浮いた力は、教育と介護へ。

スマホで申請

あらゆる申請が、スマホで

給付はワンタップ

受け取りは、1回のタップ

窓口で書かない

窓口は減らさない

QRで防災倉庫

災害時、住民が自分で開ける

生徒手帳で予約

中高生が1人で、体育館を

子どもの政治参加

SNS機能・条例づくり

定型事務を1/10

測る・写す・人を動かす

先生の時間が戻る

記録と報告を、アプリで

教育と介護へ

浮いた人手と時間を、回す

手続きは、スマホで終わる。

申請

あらゆる申請が、
スマホで終わる

給付

受け取りが、
ワンタップで完了

参加

子どもも、SNS機能で
政治に参加できる

窓口は減らさない。職員は解雇しない。

スマホのQRをかざせば、 使える。

防災倉庫

災害時、住民が自分で
開けられる

体育館

生徒手帳（学生証）
で、中高生が1人
でも市のコートや
体育館を予約できる

空き教室

サークルや
スタートアップが
鍵を借りずに使える

今は、10人以上の団体登録が原則。18歳未満は親の同意書も要る。

子どもは、まちの**少数派**になった。 だから、声が届く仕組みをつくる。

14%→12%

人口に占める子ども
(0～14歳)の割合
(2000→2025年)

0票

18歳未満は
投票できない

SNS機能

子どもも政治に参加。
学生も条例づくりに
参加できる仕組み

数が少ない人の声ほど、届く仕組みがいる。

つくる前に、数える。

10億円以上の事業は、建てる前に収支を公開し、第三者が数えてから議会へ。



つくる前に数える = 収支を先に公開。 答え合わせを、毎年議会へ。

10億円以上

建てる前に、第三者が数える

収支を公開

着工前に、市民が見られる

答え合わせ

約束と結果を、毎年議会へ

1人あたり所得

市の指標に。毎年、答え合わせ

介護の働き手

市が数えていない数

不登校・居場所

子どもの実態を数える

一人暮らし

手取りと家賃を数える

北九州市にはある

着工前のルール。市は0件

風の谷から

最初に通すのは自分の政策

市の目標に、 一人ひとりの**所得はなかった。**

下落傾向

「一人あたり市民所得
は下落傾向」。
市自身が2012年の
計画に書いた

0件

所得・賃金の成果指標
(2013年→
今の計画まで)

3,000人/年

代わりの目標：
進出企業による
雇用者数、進出企業
数、
従業者数

測っていないものは、良くない。

3つ合わせて、
4年で**約20～40億円**。

0.1%以下

市の予算（一般会計）
に占める割合

0棟

新しく建てる
ハコモノ

よく聞かれる4つの論点への、**立場**。

天神ビッグバン	賛成	民間投資で耐震性が上がる。石垣のように、場所の記憶も残せる
ウォーターフロント	風の谷型	再開発ではなく、博多小のような拠点を明るく伝える。賑わいも目標に
外国人	学ぶ仕組み	言葉とルールを学ぶ場を、いまある場所で
子育ての給付	続ける	受け取りは、ワンタップで

元気なうちに、備える。
福岡に、7つの風の谷を。

数字と出典は、すべて配布資料とHPに。kantanagasawa.com